



年 組 名前

# 道新でワークシート



## 介護バス送迎 AIにお任せ

### 冬道の渋滞回避、来月から実証実験

人工知能（AI）開発を手掛けるテクノフェイス（札幌）は、介護ベンチャーのウエルモ（福岡）と共同で来年1～2月、通所型介護事業所の送迎バス向けに、冬道による渋滞を回避できるように、冬道に最適な経路を作成させる実証実験を札幌市内で行

### 札幌のテクノフェイスなど

う。北国の暮らしに特化した「スマート介護」の研究開発を進めて2020年度にも実用化したと考えた。

一般的な介護事業所では職員が手作業で利用者の住所から送迎の経路を作成している。冬場は積雪や凍結で道路が混雑するため「夏の2倍は時間がかかる」（介護関係者）という。バスが来ないと介護する家族が外出できず、利用者の不安も増す。また、多くの事業所では遅れが生じる場合、バスに乗りしている職員が利用者に電話で連絡しており、手間が増えて負担になっている。

示す。実験では札幌市内の介護事業所の協力を得て、AIが作成した経路で実際に送迎してもらい、時間短縮効果を測定する。

将来的には走行中のバスから収集した路面や混雑状況のデータをAIに学習させ、より精度の高い経路計算がリアルタイムで可能になるという。家族のスマートフォンに到着予定時刻を自動送信する機能の追加も計画している。

実用化後は札幌以外の道内各地や東北地方などへの展開を目指す。ウエルモの大井弘幸北海道エリア統括部長は「北海道は東京と事情が異なり、寒冷地に特化したシステムが必要。ITで北海道の介護サービスを向上させたい」と話している。

2019年12月23日（月） 朝刊 全道遅版 総合2P（記事は再編集しています）

- ①「AI」とは何か答えなさい。
- ②介護事業者の送迎バス向けに、なぜ「AI」を導入しようとしたのか、北海道の気候の面から答えなさい。
- ③この記事から、現在の社会の課題をさまざまな面から考えてみよう。